

阿武隈東-阿武隈IC間の起工式が行われました

平成25年11月16日（土）に、相馬市東玉野において、阿武隈東～阿武隈IC間の工事起工式が行われました。



関係者を代表して相馬市長、伊達市長を初め、13の方が鍬入れをし、工事の安全を祈願しました。

この区間は全長5キロに及び、平成23年11月に事業化されたものです。阿武隈東道路と霊山道路を結ぶ道路で、2カ所の橋と切り土盛り土が主体になっています。総工費は150億円の見通しで、11月末現在、3本の工事がスタートしました。



相馬市から「相馬流れ山」



伊達市から「霊山太鼓」



復興へ



コンクリート受入検査とは

現場に運ばれてきたコンクリートの品質が、発注した条件にきちんと適合しているかどうかを、現場で確認する検査です。

道路を作るコンクリート製品は、側溝等小さなものは工場で形にしたものを使用しますが、橋などの大きな物を作る場合、コンクリート工場からドロドロの状態の生コンクリートを運搬し、現場で型枠に流し込みます。



①コンクリートの運搬

生のコンクリートは、ミキサー車と呼ばれる専用車で運搬します。

コンクリートが入ったミキサー車の容器をゆっくりと回転させ、かき混ぜながら移動します。

回転させるのは、コンクリートの砂と砂利が車の震動で分かれてしまわないようにするためです。

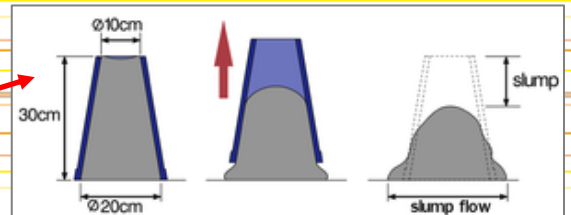
②コンクリートの試験

工場から運んできたコンクリートが注文通りかを、現場で検査します。

- ? 水が多すぎないか→ひび割れる。
- ? 空気が適度に含まれているか?
- ? 注文通りの柔らかさか（スランプ試験）
→隅々までコンクリートが行き渡らない
- ? 塩分が含まれていないか
→何年か後に鉄筋が錆びてしまう。
- ? きちんと固まる温度なのか
→地震に耐えられなくなってしまう。



スランプ試験の方法



③コンクリートの養生

見た目が固まったように見えても、すぐにはその強さを発揮できません。約4週間、衝撃を与えないように大切に扱い、温度管理のために保温シートを撒いたりして養生します。

お気づきの点や知りたいことなど、お気軽にどうぞ!

〒960-8251

福島市北沢又字川下釜8-10

TEL 024-555-6554 FAX 024-555-1850

発行: 国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所 信夫山国道出張所

福島河川国道事務所HP: <http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>

イラスト提供: ふわふわ。リ / ©独眼電ねこまさむね

↓国道4号、13号、西道路のみにあります



道路の異状は
緊急ダイヤル

#9910

無料 24時間受付

<http://www.keital/thr.mlit.go.jp/fukushima/>